

ハチ

ハチの種類

スズメバチ

(コガタスズメバチ、キイロスズメバチ、オオスズメバチなど)

- 名古屋市内の住宅地ではコガタスズメバチが多く生息しています。
- 体長は、コガタスズメバチで22～28mmです。
- 縞模様のある外皮で覆われたボール状の巣を作ります。
- 女王バチが単独で営巣をしている5～6月頃のコガタスズメバチの巣は、トックリを逆さまにしたような形をしています。
- 成虫は樹液などを好み、昆虫を捕らえて幼虫に与えます。
- 巣を守るため、巣に近づくと攻撃をしてることがあります。



コガタスズメバチ

コガタスズメバチの生活史

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
越冬期	女王バチが巣の場所さがしをする	女王バチが一匹で卵・幼虫の世話をする	女王バチと働きバチが共同で卵の世話をする	働きバチがどんどん増え、巣も大きくなる。巣の防衛本能が強くなり、巣に近づくと攻撃する		新女王と雄バチが交尾する		巣の中のハチは死んで巣はからになる。この巣は翌年は使いません

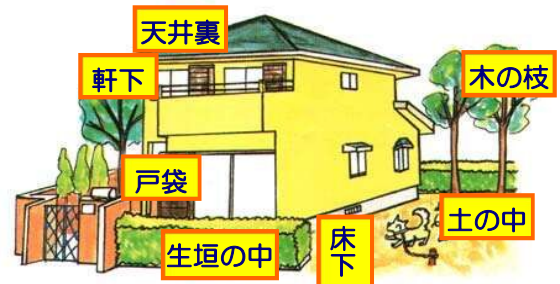


5～6月頃の巣



大きくなった巣

スズメバチの営巣場所



アシナガバチ

(セグロアシナガバチ、フタモンアシナガバチなど)

- 都市部でごく普通に見かけるハチで、足をだらりと下げて飛んでいます。
- 体長は、セグロアシナガバチで21～26mmです。
- 軒下や木の枝などに、茶碗を逆さにした形の巣を作ります。スズメバチの巣と違い外皮がないため、六角形の巣穴がたくさん見えます。
- スズメバチに比べると性質が温和で攻撃性は強くありませんが、巣に触れたりして刺激を与えると攻撃してることがあります。



アシナガバチの巣

ミツバチ

(セイヨウミツバチ、ニホンミツバチ)

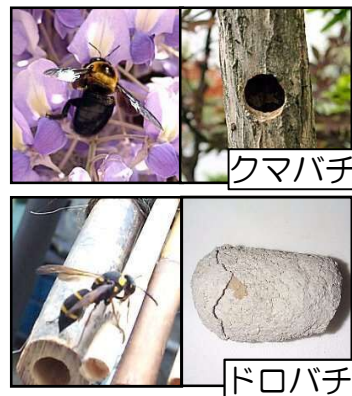
- 人家に巣を作るとはまれですが、5～7月にかけて巣分かれ(分蜂)のために大群で移動することがあります。
- 分蜂群は営巣場所を探すため早ければ数時間、長い場合は数日間で巣の近くの樹木に止まり、その後営巣場所に移動します。
- 街路樹や庭木などに多数のハチが蜂球を作って群るため恐怖感を与えますが、分蜂群はおとなしいため、ハチを刺激したりつぶさないかぎり刺すことはないといわれています。



ミツバチの分蜂群

その他のハチ

スズメバチやアシナガバチのような集団生活をするハチの他に、単独で巣作りをするクマバチやドロバチがいます。これらのハチは家の外壁や庭木などに泥でできた巣を作ったり、あるいは竹筒や板の穴などを巣に利用したりします。手で握ったりしない限り、刺される心配はありません。



ハチに刺されないために

- 巣に近づいたり、イタズラしたりしない。
- 庭木を剪定するときは、まず、周囲に巣がないか確認する。
- ハチが餌をとっている時は、刺激しない。
- 洗濯物にハチがまぎれこんで刺されることがあるので注意する。
- ハチは黒色に対して激しく攻撃する性質があるため、ハイキングなど野外に出かけるときは黒い着衣を避ける。匂いもハチを刺激するため、ヘアスプレーや香水などの化粧品の使用にも注意する。



巣を除去する場合は

アシナガバチなど、攻撃性が比較的弱い種類については、誤って巣に触れてしまうような場所でない限り必ずしも除去する必要はありませんが、通路などの日常生活上支障のある場所に巣が作られたときは、早めに除去することも必要です。

＜スズメバチ＞

攻撃性が強く作業中に刺される場合もあるので、巣の除去は専門業者に依頼しましょう。

＜アシナガバチ＞

スズメバチに比べ攻撃性が弱く、外皮もないため自分で除去することも可能です。夕方から夜、ハチが活動を停止している間に、風上から巣に向けてスプレー式の殺虫剤を20～30秒吹き付けます。

もしハチに刺されたら

- 刺された場所から、できるだけ遠ざかる。
- 傷口を流水でよく洗い流す。
- 患部に抗ヒスタミン軟膏を塗る。(アンモニアは効果がありません)
- 症状がひどい場合は、速やかに医師の診察を受ける。

衛生害虫の相談は、保健センターへ

○千種保健センター 環境薬務課 (担当区：千種区、昭和区、瑞穂区、名東区)	☎ 753-1973
○中村保健センター 環境薬務課 (担当区：西区、中村区、熱田区、中川区)	☎ 433-3064
○中保健センター 環境薬務課 (担当区：東区、北区、中区、守山区)	☎ 265-2256
○南保健センター 環境薬務課 (担当区：港区、南区、緑区、天白区)	☎ 614-2862

※上記以外の保健センターでも来所相談を実施しますが、現地調査などは上記4保健センターに引継ぎます。